

[01_01]九州大学大型計算機センター広報 : 1(1)

<https://doi.org/10.15017/4843154>

出版情報 : 九州大学大型計算機センター広報. 1 (1), pp.1-68, 1968-04. 九州大学大型計算機センター
バージョン :
権利関係 :



巻 頭 言

九州大学大型計算機センター設置準備委員長 北 川 敏 男

学術研究のために全国共同利用として、既設の東京大学大型計算機センターに加えて、京都大学、東北大学とならんで九州大学にも同一の目的と趣意により、大型計算機センターが設置されることとなったのは、まことに御同慶に堪えない。昭和44年1月よりサービス開始を目処に、設置準備委員会が鋭意開設の準備にあたっている。

まず、全国共同利用ということであるその趣意は、理念としてはそう理解してもらうのに困難ではないようである。しかし、大学自治の伝統と従来の慣習との関連においては、細かな配慮と温い協力とにまたなければならないことは、あまりにも多いのである。各位の一層の御理解に待つほかはないのである。

大型計算機センターは、いうまでもなく研究者へのサービス提供を主目的とするものであるが、この目的を達成するためにも、日進月歩の計算機について、研究開発を怠ることはできない。このために、この種の計算センターには関係方面の広い支持のもとに、この研究開発の任務を分担することは大学におかれたセンターとしては、特に必要である。

九州大学大型計算機センターは、センター内の事務処理に関しても、計算の受入・引渡等に関しても、できるかぎりの機械化をはかることを目処としている。又、一括処理方式を主体としてサービスに当るとともに、時分割方式（TSS）についての研究、開発をも計画し、将来におけるその具体的利用への準備も用意しようとしている。この実現についても、また多くの努力が必要である。

このように、九州大学大型計算機センターは、一方において、確実に利用者に対してサービス提供の実効を確保するとともに、他方において、たえず、将来の発展にそなえて、情報科学の進歩を反映させて、より親しみやすく、より役に立つ計算機の利用の途を開発することに努めることを念願としている。

九州大学内部は申すまでもなく、広く全国、なかんずく、西日本の学界各位の強力な御支援をお願いする次第である。